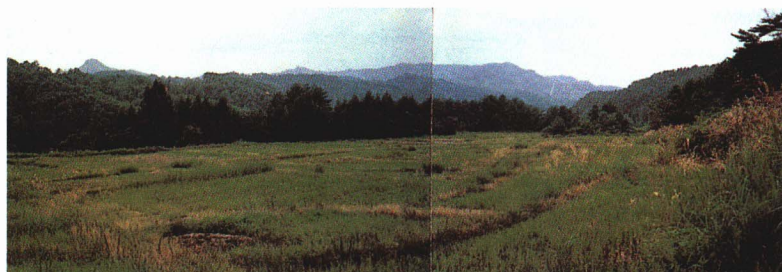


生まれかわった田　むかしは、田を平らにするのがたいへんむずかしかったので、土地の高さにあわせて田を作りました。そのため田は形や大きさがそろわず、仕事のしにくい田でした。

町では昭和45年頃から「ほ場整備」をして、仕事のしやすい田を作る計画を立てました。そして、むかしの田は、機械を使って大きな四角形の田に作りかえられました。

今では、町のほとんどの田が、ほ場整備を終えました。広々とした四角形の大きな田がならび、また、用水路やトラックの通れる広い道も作られ田の仕事はとてもやりやすくなりました。

田のほかに畑も、ほ場整備され仕事のしやすい畑に生まれかわっているところもあります。



◀むかしの田
にしだいら
(西平)



◀機械やトラックを
使って田を作りな
おしている。



◀生まれかわった田
(西平)